

2021年11月 教会行事予定表

曜	午前	午後
1 月		
2 火		
3 水		
4 木		入門講座 18:00
5 金	入門講座(登別教会) 10:30	
6 土	ミサ 10:00 掃除当番楽山地区	
7 日	ミサ9:30 参加地区(白鳥・楽山) 運営委員会	七五三のお祝い
8 月		
9 火		
10 水		
11 木		入門講座 18:00
12 金	入門講座(登別教会) 10:30	
13 土	ミサ 10:00 掃除当番楽山地区	
14 日	ミサ9:30 参加地区(楽山・太平洋)	
15 月		
16 火		
17 水		
18 木		入門講座 18:00
19 金	入門講座(登別教会) 10:30	
20 土	ミサ 10:00 掃除当番楽山地区	
21 日	集会祭儀9:30 参加地区(蘭岳・太平洋)	
22 月		
23 火		
24 水		
25 木		入門講座 18:00
26 金	入門講座(登別教会) 10:30	
27 土	ミサ 10:00 掃除当番楽山地区	
28 日	ミサ9:30 参加地区(白鳥・蘭岳) 室蘭教会コンサート	13:00信徒 16:00一般
29 月		
30 火		

コロナ禍を生きる教会

20



**いつものこと**  
いつものことですが、教会の周りは塵すてばです。空き缶空き瓶ペットボトルなど。この写真は、ゴミをポリ袋に入れて放棄していったものをカラスがほじくり返したものです。家庭のゴミもありますから高校生だけではないですね。

2021  
10/10

# ひとつになるう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

カトリック東室蘭教会  
〒050-0073  
室蘭市宮の森町4-9-7  
0143-44-3851

## 始め良ければ終わり良し



この記事を書いた人  
**Fr.YASU**  
Fr.YASUさんは1972年に司祭叙階されたカトリックの神父さんです。  
なんと！間もなく司祭生活50年(金祝)を迎えます。

「育児放棄」「幼児虐待」の事件が次々と  
つい最近の、ご存知の出来事です。大阪府摂津市で新村 桜利斗(おりと) ちゃん(3)が熱湯をかけられて死亡し、母親の交際相手が逮捕された事件で、市と児童相談所が事件約1か月前に桜利斗ちゃんの家について「第三者からの暴力を止められないネグレクト(育児放棄)」と判定していたことがわかったのです。その後も、従来通りの見守りが継続されていたとはいっても、一時保護などの強い権限を持つ児相の対応に切り替えなかったことが判明しています。つまり、行政側の認識の甘さが浮き彫りになってしまいました。(読賣新聞西部版2021年9月28日朝刊)

2021年10月3日  
「始め良ければ終わり良し」という言葉があります。言うまでもなく、みなさんはよくお分かりのことですが、つまり、「始めがうまくいけば、すべてが順調に進み、最後により結果を得る。だから最初は慎重でなければならない」ということですよ。

**夫婦は家庭・社会・国家の始まりのハズが**  
かつて、結婚式の祝辞の中で、この言葉が引用されている場に何回も出合ったことがあります。夫婦としての始まり、それは、家庭の始まりであり、社会の始まりであり、大げさな言い方をしますと、国家の始まりであるといえます。いわゆる、共同体のすばらしさが発揮され、体感できる場が創造されていく始まりです。

それなのに、最近では「育児放棄」、「幼児虐待」という痛ましい事件が次々と起こっています。その度に、ある種、腹立たしさ、憤りを感じる時があります。同時に思うのが、「結婚」そのものについての国民の認識、意識が低下し、軽視されているのではないかということです。「結婚」は単なる「形」だけではないのではないですか。「誓い」なんですよ。それは「神仏に対して、ある行為の実行を固く決意する」ことなのです。(新明解国語辞典第5版) それこそ、「誓う」ことによって、新たな人生の歩みの始まりが、ここにあったのです。あくまでも始まりであって、これから織りなされる「わたしたち」の生のいとなみの入り口です。それが、虐待等の事件によって、無残にも挫折感に見舞われてしまいました。まことに残念です。

母親の交際相手の松原拓海容疑者の逮捕から一週間となるのを前に、28日、森山一正市長が会見しました。まずは謝罪をし、「自治体としての役割は果たしていたつもりだが不十分だった可能性はある」と述べています。市は、母親からも相談され、母親の知人からも虐待の疑いがあると市に通報がありましたが、その生活実態を正確に把握せず、事件を防ぐことができなかったのです。(南日本新聞2021年9月29日朝刊)

**当時のユダヤ社会での「離婚」のとらえ方**  
いくら互いを知り合う期間が長くあっても、男女が一生をともにすることの難しさは、昔も今も変わるものではないでしょう。イエスの時代にも同じです。どうしても離婚が社会問題として話題になるのです。ファリサイ派の人がイエスに近づいて試みます。「夫は妻と離婚してよいか」と。

当時のユダヤ社会には、「離婚」に関する考え方に二つの派がありました。一つは、どんな理由でもかまわないという安易な考え方の派と、妻の不品行だけを離婚の唯一の理由とする比較的厳しい考え方を所持派です。その理由がどうであれ、離婚はゆるされるということで二派は一致していました。その根拠になるのがモーセの律法でした。「人が妻をめとり、その夫となつてから、妻に何か恥ずべきことを見いだし、気に入らなくなったときは、離縁状を書

いて彼女の手に渡し、家を去らせる」と。(申命記24章1節)

ファリサイ派の彼らは、律法をたてにして「離婚」の可能性を認め、主張します。しかし、大事なものは律法の持つ根本精神を分かることでしょう。イエスは、創世記に基づいてその精神を示されます。それというのは、「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。」(創世記1章27節) また「男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる」と記されています。

イエス「人は神にかたどって想像された」

確かに「神は御自分にかたどって人を創造された」のです。二人は神のかたどりとしての存在者なのです。その二人が交わるのです。それは絶対的です。あるかぎられた期間だけの交わりを誓うのではないのです。結婚する一人ひとりの存在は、有限かつ弱さ、エゴイズムを抱きつつも、永遠の愛を誓いあう二人なのです。永遠への歩みを

始めた二人なのです。だからこそ結婚は尊いのです。

このことの中に、イエスのファリサイ派への回答が含まれています。しかも、イエスの十字架の極みに至るまでの業は、愛することの究極な姿を示しています。それは、二人の愛による歩みへの評価をしてきていることにつながりはしないでしょうか。

「始め良ければ終わり良し」という言葉も意気込みも、今の世代の人々には伝わっていかないのでしょうか。もの事の節目を大事にする日本人、これも今では廃れてきたのでしょうか。もっと自らを、しかも、自らの良さを発見し、大事にしたいですね。

「わたし」は神に似せて創られているのです。だからこそ、弱点だらけの「わたし」でも、自分の原点に戻って前に進むことができます。「始まり(原点)」は、やはり大事であるということではないでしょうか。

## ミサ・集会祭儀の参加地区が変更になりました。

月	10		11		12	
第一主日	太平洋	白鳥	白鳥	楽山	楽山	太平洋
第二主日	白鳥	楽山	楽山	太平洋	太平洋	蘭岳
第三主日	楽山	蘭岳	蘭岳	太平洋	白鳥	蘭岳
第四主日	蘭岳	太平洋	白鳥	蘭岳	楽山	白鳥
第五主日	白鳥	蘭岳				
掃除当番	白鳥		楽山		蘭岳	

月	1		2		3	
第一主日	太平洋	蘭岳	蘭岳	楽山	蘭岳	白鳥
第二主日	蘭岳	楽山	蘭岳	白鳥	太平洋	白鳥
第三主日	楽山	白鳥	白鳥	太平洋	太平洋	楽山
第四主日	白鳥	太平洋	太平洋	楽山	楽山	蘭岳
第五主日	太平洋	楽山				
掃除当番	太平洋		白鳥		蘭岳	

(注) イ、集会祭儀時は、各主日初めに書いてある地区が司会、朗読を、ミサの時は朗読を務めます  
 口、掃除は、当日参加した人が当番に関係なく協力して実施する  
 ハ。指定日に参加出来ない時は、他の地区でも参加自由です

## 2021年度第4回運営委員会 議事録

2021年10月2日(土)10:45~11:40

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

### 3. 報告:

#### 3.1 10, 11月の予定

- 10月 2日(土) ミサ後10月の運営委員会
- 10月 3日(日) 年間第二十七主日、ミサ(太平洋・白鳥地区参加)、司式 蓑島神父様
- 10月10日(日) 年間第二十八主日、集会祭儀(楽山・蘭岳地区参加)、例会予定日
- 10月17日(日) 年間第二十九主日、ミサ(白鳥・楽山地区参加)
- 10月24日(日) 年間第三十主日、集会祭儀(太平洋・蘭岳地区参加)
- 10月31日(日) 年間第三十一主日、ミサ(白鳥・蘭岳地区参加)  
室蘭ブロック会議(登別教会、13時30分)
- 11月 7日(日) 年間第三十二主日、ミサ(太平洋・楽山地区参加)、七五三のお祝い、ミサ後11月の運営委員会
- 11月14日(日) 年間第三十三主日、集会祭儀(白鳥・蘭岳地区参加)、例会予定日
- 11月21日(日) 王であるキリストの祭日、ミサ(白鳥・太平洋地区参加)
- 11月28日(日) 待降節第一主日、集会祭儀(蘭岳・楽山地区参加)

#### 3.2 敬老の日への対応

該当者(90歳以上、青坂忠夫、井土井剛、Sr.天野、Sr.桜井、寺田玉井、近信子の皆様にお祝いのカードとお祝いの品を。板垣トミ子、松岡はまの皆様にお祝いのカードを届けた。

#### 3.3 財務報告(別添資料参照)

ミサ・集会祭儀休止のため維持費の納入は少し遅れているが、活動も出来ないため支出も少なめなので、収支には問題は無い。教区負担金等の教区への送金は今年度分全額を、早めに済ませることとする

### 4. 議事:

#### 4.1 10月からのミサ・集会祭儀の当番の確認(別紙)

各地区が毎月ミサに1回は参加できるように修正を考える。

#### 4.2 蓑島神父様ミサへの対応

簡単に茶話会をすることとした。女性部に準備をお願いした。

#### 4.3 七五三への対応

11月の第一主日(7日)に神父様から祝福をお願いし、プレゼントを贈る。プレゼントの準備と案内は女性部をお願いした。

#### 4.4 待降節の黙想会と共同回心式について

コロナ禍が心配されるため今年度は待降節の黙想会は取りやめ、四旬節に行うこととする。共同回心式は12月19日(待降節第四主日)に午前午後ミサ中に行うことを考える。

#### 4.5 その他

- ・クリスマスの子供へのお菓子のプレゼントは例年通り30個を用意する(高科さん準備)。
- ・JOCから例年のカレンダーの販売を30部引き受けているので協力をお願いするが、残った分は教会で対応することとする。
- ・室蘭教会の献堂130年記念コンサート等が11月28日にある。13時~教会関係者対象、16時~一般の方対象で開催予定。
- ・こっとな倶楽部から恵まれない方々のために7万円の寄付を頂く。バザー会計で受け入れることとした。また、その内1万円をエンブリオ基金(あかちゃん支援)に送金することとした。

### 5. 司祭の予定

- 5.1 ライヤ神父様の予定 特別に予定はない
- 5.2 10/3 蓑島師 10/10 集会 10/17 ライヤ師 10/24 集会 10/31 ライヤ師  
11/7 ライヤ師 11/14 集会 11/21 ライヤ師 11/28 集会